

細川地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和3年11月26日(金)
午後7時00分～8時35分
- 2 場 所 細川町公民館大会議室
- 3 参加者 細川地区 21人
市 27人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、企画政策課長、縁結び課長、財政課長、経営管理課長補佐、商工振興課長、ゴルフのまち推進課長、農業振興課長、道路河川課長、プロジェクト推進課長、交通政策課長、文化・スポーツ課長、学校再編室長)
オブザーバー 6人
傍聴者 1人

4 内 容

- (1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり
- (2) 意見交換
ア 星陽中学校跡地活用について

【細川地区】

星陽中学校は、藤原惺窩の名前から星の文字を、生誕地の南の位置にあることから陽の文字をとった、星と太陽を表した学校名であると先生に教えていただいた。古くから細川の庄と呼ばれ、冷泉家の所領であったことや、藤原惺窩の生誕地であること、そして星陽中学校があったことを後世に受け継げるよう、星陽中学校跡地は細川地区のまちづくりの拠点になってほしいと思う。廃校利活用に係る意見交換会について、今後のスケジュールを具体的に教えてほしい。

【総合政策部長】

1月以降に日程調整を行い、意見交換会を実施していきたいと考えている。廃校の利活用についてはさまざまな意見が

あると思うため、地域の意見を聞きながら進めていきたい。他の地区においても、民間公募を行うことが決まった地区もあれば、地域の中で引き続き検討している地区もある。いつ頃までに活用方法を決めなければならないという期限は設けていないが、使用せず放置すると施設の傷みが激しくなるため、状況を見ながら進めていきたい。

【細川地区】

他の地区において、利活用案が具体的に決まった場所はあるのか。

【総合政策部長】

志染地区については、利活用に係る意見交換会を2回行ったほか、地域の中で検討会やアンケート等を実施されている。吉川地区については、意見交換会を2回行う中で民間事業者に公募することが決まった。現在、公募の手続きに向けて市で準備しているところであり、3月から4月頃に公募を開始したいと考えている。

イ ゴルフアカデミーについて

【細川地区】

ゴルフアカデミーというとゴルフスクールや練習場のようなものをイメージする。具体的なイメージが掴みにくいため、現在、市が想定しているアカデミーの規模や概要等を教えていただきたい。

【産業振興部長】

ゴルフアカデミーというと練習場やジュニア育成の施設等と捉えがちだが、市では現在、産業としてゴルフを振興できる施設の整備を検討している。単にゴルフ教室を行う民間事業者ではなく、スポーツ施設の運営事業者やゴルフ場の整備を担う事業者等に参画いただき、ゴルフを通じてさまざまな産業振興につながる整備ができないか、民間事業者と一緒に検討を進めているところである。

【細川地区】

市内にも数か所ある既存のゴルフアカデミーとは異なるものということか。

【産業振興部長】

ゴルフの練習等に特化した施設については、現在考えていない。例えば、芝生の管理を担う事業者に参加いただくのであれば、ジュニアゴルファーが集う場所として芝生エリアを開放することなどが考えられる。ただし、事業者から提案いただければ、他にもさまざまな事業を考えていく必要がある。

【細川地区】

ゴルフアカデミーは市内に何か所程度整備する予定なのか。

【産業振興部長】

ゴルフ産業の拠点としてまずは1か所整備する予定としている。

【細川地区】

地理的に考えると細川地区は三木市の中心であるため、拠点としての整備をぜひお願いしたい。

ウ ケーブルテレビ組合への支援について

【細川地区】

国や県の補助制度がないため、市として金銭的支援が難しいことは認識している。施設の撤去費用は約3,500万円だが、細川テレビ組合の現在の預金額は約1,600万円であり、約2,000万円不足している。今後、組合員の同意を得た上で撤去費用を積み立て、光回線に移行する方向で調整したいと考えている。今後もさまざまな問題があると思うが、地域では解決が難しい課題等について今後も協力いただきたい。

【総合政策部長】

課題等があれば市にご相談いただきたい。今後、地域において議論される際にも、必要であれば市も一緒に参加させていただく。

【細川地区】

計画的に解散された組合との公平性の観点から、市として支援が難しいことは理解できる。しかし、数年前に落雷でテレビが映らなくなったこともあり、例えば災害時にテレビが映らなければ情報が得られず危険である。市として放置せず、良い方法を一緒に考えていただきたい。また、高齢者や生活困窮者を対象とした光回線を導入する費用の補助等を実際

に行っている事例はあるのか。

【総合政策部長】

現在、市内全域でe o 光の回線を導入できる状態になっているが、月額3,000円以上かかるため、現在のケーブルテレビ組合の月額より高くなってしまふ。以前に安い料金プラン等を設定いただけないか事業者にお問い合わせしたが、三木市だけに特別な料金プランを作ることはできないと回答いただいた。県や国として支援いただくよう要望しているところであるため、地域の方針が決まれば、光回線の事業者へ地域も一緒に要望いただきたい。

【細川地区】

テレビ組合としても方向性について意思統一を図るため、今後ともご協力をよろしくお願ひしたい。

【市長】

地域での方針決定に当たって必要な資料等があれば、市にご相談いただきたい。口吉川地区においても昨日テレビ組合との意見交換会を開催したところであるため、地域と一緒にさまざまなご意見を頂きながら進めていきたいと思う。

エ 細川町公民館前のバスターミナルについて

【細川地区】

先日、市職員に暮らし生活部会へ参加いただき、地域住民ではわからないことも説明いただけて理解が深まったため、今後も定期的に地域の会議に参加いただきたい。細川地区は、人口減少による過疎化や星陽中学校の廃校により、人の集まる拠点がなくなっている。道の駅淡河のような人が集まる施設の設置を検討いただき、細川地区の発展を考えて細川町公民館周辺の活性化に取り組んでいただきたい。

【都市整備部長】

都市計画マスタープランにおいて、各地区の拠点を検討しており、細川地区は公民館周辺を地域の拠点として位置付けている。市だけでなく地域住民と意見交換をしながら検討していく必要がある。地域において検討される際は、都市政策課等の関係部署にお声掛けいただき、市も一緒に協働で検討させていただきたい。

【市長】

バスターミナルの設置が地域の活性化に直接つながるわけではなく、さまざまな視点から検討する必要があると考える。例えば、野菜の直売所の設置について地域から要望をいただくが、農業者の高齢化により野菜の確保が困難であるという意見も聞く。市と地域が一緒にまちづくりを進めていきたいため、地域活性化案や必要な資料等があればお気軽に申し付けていただきたい。

オ 有害鳥獣対策の強化について

【細川地区】

県立総合射撃場では罾の講習等も受けられると聞いており、イノシシ等の頭数を減らす観点から期待している。施設の完成時期の目途を教えてください。

【産業振興部長】

仮称県立総合射撃場については、令和5年度にオープン予定と聞いている。捕獲技術の向上や、法令及び安全対策の知識の習得、狩猟体験や情報発信を通じて狩猟免許の新規取得者を支援する。なお、敷地面積は80haあり、罾の実践研修等に活用できる罾のフィールドのほか、国民体育大会の射撃競技に活用できる射撃場も設置される。市内に狩猟者の育成につながる施設ができることにより狩猟者の増加に期待するほか、市の補助制度により免許取得費用を助成できるため、検討されている場合は産業振興課にご相談いただきたい。

【細川地区】

総合射撃場は吉川地区のどのあたりに設置されるのか。

【産業振興部長】

吉川地区の福井及び上荒川に設置される。

【細川地区】

市に補助していただいた電気柵やワイヤーメッシュ等を有効に活用させていただき、イノシシの侵入は改善された。ただし、設置から年数が経過すると設備の老朽化が心配であるため、今後、更新に係る補助も検討いただきたい。

【産業振興課長】

市の単独補助事業については、平成27年から材料費の2

分の1を補助している。数年前から1戸の農家に対しても補助できるよう取り組んでいるが、市内全域に補助できている状況には至っていないため、更新に係る補助は現時点では考えていない。更新については自己負担となるが、材料の有効活用等により対応いただきたい。

【細川地区】

増田地区には電気柵やワイヤーメッシュ等を現在18機設置しているが、機械が故障した際には1機あたり7万円から8万円程度の修理費を要する。市内全域に広く補助できから更新の補助を検討されることと思うが、導入した年度によって対応を検討いただきたい。

【細川地区】

令和2年度のイノシシの捕獲数が1,083頭と説明いただいたが、想定される市内の頭数のうち何割程度を捕獲できたのか。また、狩猟免許を取得する際に猟友会へ入会する必要があることから、免許取得を躊躇するという声も聞くため、若い世代が活躍しやすい組織を検討する必要があるのではないか。フェンスを設置してもフェンスのない箇所へイノシシが向かうため、被害の減少は実感していない。根本的な解決が必要であると考えている。

【農業振興課長】

イノシシの現在の頭数については、農会長へのアンケート調査をもとに推測した頭数でしか把握できないのが現状である。ドローンを夜間に飛行させ、熱感知により生息状況を把握する方法もあるが、現時点では実施できていない。三木市のイノシシ捕獲頭数については、平成27年は220頭程度だったが、数年前から1,000頭程度捕獲できるようになっている。全体の頭数を考えると少ないかもしれないが、捕獲頭数の積み重ねが重要であると考えている。また、猟友会は、捕獲に専門性を有しており安全に活動できる事業者として県に認定されている、最も人数が多い団体である。地域において新たな団体を設立した場合、安全で効果的に活動できるようになれば登録団体となることも可能かと思う。ただし、山での狩猟は基本的に危険であり、銃で負傷する事例もあるため、猟友会で活動実績を積み、先人の技術を伝承しながら

活動いただきたいと思う。

【市長】

イノシシやアライグマの生息数等は把握できないが、アライグマの捕獲数は三木市が県内で1位である。また、アライグマやヌートリア、イノシシ、シカ等の有害鳥獣についても、北播磨地域で捕獲された約 5,400 頭のうち約 6 割が三木市で捕獲されているほか、防護柵についても北播磨地域で設置されている約 181 kmのうち 6 割以上が三木市で設置されている。市の支援策を皆様に活用いただいている結果であると思うため、引き続きよろしくをお願いしたい。

カ 県道の整備について

【細川地区】

舗装については、限られた予算の中で順次取り組んでいることは理解できる。県の事業であるため、引き続き粘り強く市から要望いただきたい。

【都市整備部長】

舗装については部分的な補修も可能であるため、お気づきの点があればご連絡いただきたい。市から県へ取り次がせていただく。

【市長】

谷口交差点から桃坂へつながる道路について、地域としては渋滞していると認識しているが、県としては渋滞交差点だと認識していないため、整備が難しいことをご理解いただきたい。また、ネスタリゾート神戸の入口から南側は整備されたが北側の谷口交差点までが整備されていないという意見については、志染地区が整備されているにも関わらず細川地区は整備されていないという課題であると認識してよいか。

【細川地区】

その通りである。志染地区が整備されたにも関わらず、なぜ細川地区は整備されていないのかという意見である。

【市長】

当時、県がひょうご情報公園都市等の事業を実施するにあたり、さまざまな観点から検討した結果、現状のとおり整備されたと認識している。

キ 河川改修について

【細川地区】

桃津橋について、補修のための詳細設計等に取り組んでいただき感謝する。河川整備は下流から計画的に進めていく必要があるため、予算の関係上難しいこともあると思うが、今後も県と密に連携して取り組んでいただきたい。

【市長】

以前からご提言いただいていた高篠橋の周辺の岩塊については、3月頃に県に撤去していただいた。当初、県は撤去しないと回答されていたが、地域の声に鑑み撤去していただいた経緯があるため、具体的に危険な場所等があれば、市も一緒に県へ要望していきたい。

ク 過疎化地域の未来について

【細川地区】

20年から30年後の細川地区が、人、教育、環境という3つの視点からどのような地域になってほしいと市として考えているかお聞きしたい。また、学校の統廃合については、規模の大きな学校に小規模校が統合される印象であり、細川地区や口吉川地区は空白地になってしまう。農地や里山がある山間部の細川地区において、人口増加のための活性化案は浮かびにくいですが、希望ある細川地区を次の世代に残せるよう、まちづくりに取り組んでいただきたい。

【産業振興部長】

農業について、地域の未来を決めるのは、農地をお持ちの方や農業を営まれている方など、地域の皆様であると思う。20年から30年先を見据えた場合、農地の売買等による解決ではなく、今後、農地をどのように活用するのか地域で話し合いながら決めていく必要がある。人・農地プランは、そのような内容を含めたプランである。人・農地プランの作成に向けて、農地の集積や担い手のことも含めて地域と一緒に話し合っていきたい。

【市長】

20年から30年先を見据えた施策として、小中一貫校の

設置に向けた検討のほか、働く場の確保の観点から県と連携協定を結びひょうご情報公園都市の整備に取り組んでいる。学校の統廃合については、地域の学校が廃校になることは大きな問題であると認識している一方で、地域の生徒数が少ないことを理由に、都市部の学校へ子どもを通わせている保護者の意見も聞く。市としても、子どもたちにとってよりよい教育環境のために学校再編を進めてきた。地域の未来は、市だけで考えられるものではなく、地域と一緒に考えていく必要がある。市に参加してほしい機会等があれば積極的にお声掛けいただき、一緒に考えさせていただきたい。

【教育長】

学校再編については、適正な規模の中で教育を行うことが大きな狙いである。小規模校においても工夫を重ねてきめ細やかな教育を施すことはできるが、これからの未来をつくる子どもたちを育てていくためには、適正な規模の中での切磋琢磨が重要ではないかと考えている。ただし、統合してもなお児童生徒数が少ない学校もあり、より多くの児童生徒との関わりの中で教育を行いたいという思いから、現在、小中一貫校の検討を進めている。なお、星陽中学校の統合に当たっては、細川地区から三木地区へ通うことになるが、新たな学校の出発として2つの学校と一緒に新しい伝統を作るものと認識している。どちらの子どもたちにとってもよりよい環境となるよう、両校の交流等の準備を重ねていくため、ご理解いただきたい。

【細川地区】

校区の見直し等を行わないのか。市全体の人口分布に鑑み、3つから5つ程度の学校となるよう計画していると聞いた。緑が丘地区や自由が丘地区に学校が集中し、細川地区や口吉川地区、吉川地区には吉川中学校の1つしかないイメージである。見直しが可能なのかどうかも含めて検討いただきたいと思う。

【教育長】

市全体の人口推移に鑑み、5つの小中一貫校の設置を検討している。開校時期や場所等については決定していないが、第一校は吉川地区周辺に設置したいと考えている。

【細川地区】

細川地区は他地区よりも速いスピードで少子高齢化が進んでおり、10年後の農業者数は現在の半分から3分の1程度になってしまう。現在の農業者は、誰かにやってもらいたいという気持ちと、先祖からの土地を守らなければならないという使命感の間で葛藤しているため、市と話し合う機会が重要であると思う。細川地区のさまざまな潜在能力を、市と地域が一緒に見つけられれば一番いいと思う。

【市長】

地域でのさまざまな機会に際しお声掛けいただければ、可能な限り私も参加させていただくため、よろしくお願ひいたしたい。